

JSO定期公演

青井 彰

ピアノ リサイタル

JSO vol.28

2013 **10/18** (金) 18:30開演
(18:00 開場)

兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院 小ホール

兵庫県西宮市高松町2-22

★阪急神戸線西宮北口駅南改札口より徒歩2分

入場料 (全席自由) **3,000円** 学生 **1,500円**

芸術文化センターチケットオフィス(9月7日(土)から発売)

兵庫県西宮市高松町2-22 TEL 0798-68-0255

営業時間 10:00~17:00 月曜休み ※祝日の場合翌日

JSOチケットオフィス ☎0120-961-891

営業時間 10:00~17:00 (土日祝日休み)

(JSOホームページ www.jso-music.com でもチケットWEB販売中)

◆未就学児の入場はできませんのでご了承ください。


Javatel
Sound
Operations

プログラム

バッハ: ゴールドベルク変奏曲 BWV 988

J.S. Bach Goldberg Variations

ベートーヴェン: ディアベッリの主題による

33の変奏曲 ハ長調 Op.120

Beethoven 33 Variations on a Waltz by Anton Diabelli

※曲目は変更される場合があります。

他

Aoi Akira
Piano Recital
2013

【青井 彰 プロフィール】

浜松市出身。東京藝術大学付属高校を経て、東京藝術大学ピアノ科卒業後ウィーンに留学。荘良江、斉田四方、田村宏、松野景一、松浦豊明、ブルーノ・サイドルホーファー、ヨゼフ・ディヒラー、ハンス・カン、レオニード・ブルンベルグ、オレグ・マイセンベルク、ミエチスラフ・ホルシヨフスキーの各氏に師事。ミラノ、ウィーン、東京、横浜、大阪、神戸他、国内各地でソロ、室内楽等の演奏会を行う。バッハ、ベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏会で好評を博す。現在、大阪音楽大学、県立西宮高校音楽科の非常勤講師。神戸・西宮音楽家協会会員。第17回神戸ブルーメール賞受賞。スウェーデン Musik-Dagar '98音楽祭に招聘されてピアノリサイタルを行う。バロックからメトネル、リゲティの現代にいたるレパートリーを手がける。

【推薦文】

青井彰氏は小学校の頃からピアノひとすじの人でした。私は彰氏のイトコですが、彰氏のピアノを聞く度に魔法をかけられたような不思議な感動につつまれたものでした。彰氏にはピアノが言語であり、氏のしなやかな指からつむぎ出るピアノの音は氏の内なる心なのです。ピアノと彰氏は一体化して、原曲に秘められた生命力が聴く者に胸にポッと灯りをつけるのです。

嵐山光三郎

青井彰の音楽は魂の音楽だ。青井彰のピアノを表現する適切な言葉があるのだろうか。妖しい音、暖かい音、丸い音、揺らぐ音が渾然一体で聴く者に迫る。普通なら緩慢に思える曲も、青井彰の手に掛かると言い知れぬ幸福感に満たされるのは何故だろう。ピアニスト有馬みどり、青井彰のピアノを「耳の栄養」と語った。誠に言い得て妙である。私はこよなくワインを愛している。飲む度に感じる、私の五感を超越して感じ取れる幸福感と希望、未来が青井彰のピアノと同質だと確信に至った。

JSO 主宰 佐々木宏至

主催：JSO (Javatel Sound Operations)、株式会社ジャバテル

後援：東京藝術大学音楽学部同声会兵庫支部、大阪音楽大学、兵庫県立西宮高校音楽科楽友会、神戸・西宮音楽家協会

お問い合わせ / JSOコンサート企画係

☎ **0120-961-891** FAX 06-6136-1155 E-mail info@jso-music.com /

詳しくは ホームページで <http://www.jso-music.com/>

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目1番21号 八千代ビル東館3F 〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目6番6号 第二井上ビル2F



「青井彰ピアノリサイタル」へのお誘い

一昨年のリサイタルでバッハの平均律第一巻を弾き、昨年は第二巻を弾ききった青井彰は今年もバッハのゴールドベルク変奏曲に挑戦する。青井さんが『平均律クラヴィーア曲集』第一巻、第二巻、ゴールドベルク変奏曲、全曲のリサイタルを行うのは、音楽家として機会が熟したからだと筆者は確信しています。ピアニストが毎年、自分の音楽的主張をこめたプログラムでリサイタルを行うことは、当たり前のように見えて、日本ではこれほど難しいことはありません。青井さんはそれを淡々と、当然のこととして行っています。今回のリサイタルは、一昨年の平均律第一巻、昨年の第二巻に続く、青井ピアノズムの集大成、そして新たな出発点と言えるでしょう。どうか心ゆくまでお楽しみください。

●下記はアンケートからです。

- ①「初めて青井さんの演奏会に来ましたが、繊細でダイナミックな演奏に心打たれ、満足感一杯です。3部構成で聞きごたえたっぷりでした。特にシューマン良かったです。息子がピアノを20年やっているの、次回は是非つれて来たいです。今日は本当に幸せ。来てよかった。一度聞いたら忘れません。」
- ②「はじめてのピアノリサイタルです。ピアノと一つになった演奏、力強さ、暖かさに驚きかつ感動しました。天上の音楽を聴く思いです。青井さんの魔法の指によって素晴らしい音楽の世界に浸りました。今日のこのひととき、ありがとうございました。何度もアンコールにこたえてくださるお人柄に感謝一杯です。再びお聞きしたいです。」
- ③「急流のような大胆さとガラスのような繊細さの両者を感じさせる、なんとも不思議な魅力を感じさせる演奏家だと思いました。謝肉祭は最高でした。また聴きたいです。今日は自由に表現することのすてきさを感じ、大切に持ち帰りたいと思いました。」
- ④「天才ですね。感動しました。久しぶりに素晴らしい演奏を聞いて幸せでした。ありがとうございました。」
- ⑤「オーケストラやジャズはホールで聴いたことがありますが、ピアノリサイタルは初めてです。リズムカルで非常にすてきな演奏でした。約3時間、一人での演奏はとても精神的に疲れるものと思われそうですが、礼に始まり、礼に終わる姿はさすがのいいものでした。ぜひまた聴いてみたいと思います。本日はどうもありがとうございました。」
- ⑥「とても感動しました。魂のピアニスト、フジコ・ヘミングの若い男性版という感じです。CDを売ってなかったのが残念です。小柄な体型で手も小さいようで、それでも素晴らしい演奏!私は小さい細幅のピアノを特注して練習していますが、人前で弾くのは大変です。ピアノの表現する喜び、悲しみ、畏敬の念などが心の、いつもよりもっと深いところへ入っていく気がします。人生を変えようとするほどの感動です。」
- ⑦「男性らしい迫力のある素晴らしい演奏を聞かせていただき、おいしい料理をたくさん頂いた後に心が満たされました。ありがとうございました。アンコール曲も楽しく、繊細な音色のように感じました。こんなに一所懸命演奏する音楽家もいらっやるのか、と思いました。痛々しいほどでした。」

もっと詳しくは <http://www.jsj-music.com/> プロフィール/青井-彰/をご覧ください。

一言で言えば青井彰の音楽は魂の音楽なのです。音楽は心で聴く、心に入っていない音楽は不要でしかない。演奏と共にある特別な瞬間(コンサート)にそれは昇華し豊穡の喜びに満ち溢れるのです。青井彰リサイタルお待ちしております。

株式会社ジャパテル CEO 佐々木宏至

至宝の変奏曲を二曲

ゴルトベルク変奏曲「ゴールドベルク変奏曲」(-ヘンソーキョク, ドイツ語: Goldberg-Variationen) は、ヨハン・ゼバスティアン・バッハによるアリアとその変奏曲からなる2段の手鍵盤のチェンバロのための練習曲 (BWV 988)。全4巻からなる「クラヴィーア練習曲集」の第4巻であり、1742年に出版された。バッハ自身による表題は「2段鍵盤付きクラヴィーチェンバロのためのアリアと種々の変奏」(ドイツ語: Clavier Ubung bestehend in einer ARIA mit verschiedenen Veraenderungen vors Clavicimbal mit 2 Manualen)。ピアノが主流となった時代から20世紀初頭まで演奏されることは少なかったが、グレン・グールドはレコード会社に反対されながらもデビュー盤にこの曲を選択、1956年にリリースされたピアノ演奏のレコードは世界的な大ヒットとなった。

ディアベリ変奏曲(ディアベリヘンソーキョク)は、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンが作曲したピアノ曲。1823年に完成された晩年の傑作である。ベートーヴェンの「不滅の恋人」とされるアントニア・ブレンターノに献呈された。ベートーヴェンは、晩年になって、変奏曲を自らの重要なジャンルにおくことになった。ソナタの楽章においては好んでその形式が用いられた。そしてその作風は、初期のものに比べると旋律や音型を装飾していく装飾変奏から、変奏が主題の性格そのものに及ぶ性格変奏へと変化した。

Wikipediaから

リサイタル歴

ここに掲載したコンサートは現存するチラシからであり、これ以外にも国内外で多数のコンサートを毎年開催している。

- 1984年 静岡文化会館大ホール / 浜松市民会館大ホール / 神戸文化ホール
- 1988年 宝塚ベガホール / 神奈川県立音楽堂 / 豊中市立アリア文化ホール
- 1990~1993年 豊中市立アリア文化ホール
- 1992年 神奈川県立県民ホール
- 1994年 神奈川県立県民ホール
- 1995年 神奈川県立県民ホール / 豊中市立アリア文化ホール
- 1996年 豊中市立アリア文化ホール
- 1997年 神奈川県立県民ホール / 豊中市立アリア文化ホール
「シューベルト生誕200年&ブラームス没後100年記念」
- 1998年 ベートーヴェン バイオリンソナタ 全曲演奏会
豊中市立アリア文化ホール / 市川パロックホール
- 1999年 豊中市立アリア文化ホール / 栄区民文化センター
- 2001年 豊中アリア文化ホール / トモノホール
「メネル没後50年記念」
- 2002年 神奈川県立県民ホール / 豊中市立アリア文化ホール / トモノホール
- 2003年 豊中市立アリア文化ホール / トモノホール
- 2004年 ザ・フェニックスホール / 横浜みなとみらいホール
- 2005年 横浜みなとみらいホール / ザ・フェニックスホール
- 2006年 兵庫県立芸術文化センター / 横浜みなとみらいホール
- 2008年 兵庫県立芸術文化センター / 横浜みなとみらいホール
- 2009年 兵庫県立芸術文化センター / 横浜みなとみらいホール
- 2010年 兵庫県立芸術文化センター / 新宿明治安田生命ホール
- 2011年 兵庫県立芸術文化センター
- 2012年 兵庫県立芸術文化センター / 永福町の音楽ホール sonorium



JSO (Javatel Sound Operations)

ハードなビジネス、混沌とした今という時代にこそ偉大なる音楽はあなたに未来を語りかけるでしょう。

JSOは株式会社ジャパテルが母体となって下記の事業を行っています。

♪ 音楽家支援活動 ♪ コンサート企画開催 ♪ コンテンツ企画配信

会社案内とご挨拶

ジャパテルは個人、企業、国家機関などの生命と財産を守る為の高度なセキュリティシステム、企業の品質、生産性の向上、利益を最大限、損失を最小限にする為のソリューションを提供しています。

世界No.1東京スカイツリーの監視セキュリティに弊社製品が採用されました。
700台弱のメガピクセル・カメラをシームレス統合した世界クラスのセキュリティを実現しています。

株式会社ジャパテル <http://www.javatel.co.jp>